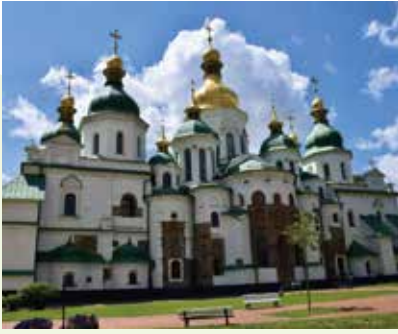


特集



▲ウクライナの首都キーウの世界遺産
聖ソフィア大聖堂

ウクライナの人たちへの 理解と支援を



問 秘書広報課

軍事侵攻により 多くの人が避難

令和4年2月24日、ロシアはウクライナに対し軍事侵攻を開始しました。

テレビやインターネットの報道では、軍事侵攻による爆撃などによって破壊された街や困難に直面しているウクライナの人々が映され、多くの犠牲が出ていることが報じられています。また、700万人以上の人々が難民となりヨーロッパにわたっているときられています。(令和4年9月現在、DZHCRC(国連難民高等弁務官事務所))

避難民学生の 受け入れを表明

日本経済大学は、今年の3月、学術協定を結ぶウクライナのキウ国立言語大学で日本語を学ぶ学生の受け入れを表明しました。ロシアによる侵攻を受け、避難民となったウクライナ人学生68人が来日し、日本経済大学へ入学しま

した。約1年間、学生全員が筑紫野市に転入し、市内にある日本経済大学の寮で生活し、日本語や日本文化、経営学などを学んでいます。

放課後児童クラブで 子どもたちとふれあう

8月、学校は夏休みとなり、市立小学校で放課後児童クラブ(学童保育所)を運営する「ちくしっ子ネットワーク」から、放課後児童クラブ支援員のアシスタントとして、一時的に働いてみては、と大学に募集が



▲放課後児童クラブで児童と遊ぶワレリヤさん

ありました。これに対し、希望した学生が筑紫小学校の放課後児童クラブ「どんぐりクラブ」で8月中旬から月末まで子どもたちの活動や学習の補助を行いました。

ウクライナ人学生に 話を聞きました

話を聞いたのは、どんぐりクラブで働いた、キウ国立言語大学3年、ウクライナのキウ市出身のワレリヤ・リピナさん(以下「ワレリヤさん」(19))と、同じく2年でジトミル市出身のヴェリチェンコ・エリザヴェータさん(以下「リーザさん」(18))です。

二人は、キウ国立言語大学の学生で、ロシアの軍事侵攻が始まり、日本経済大学が無償でウクライナからの学生を受け入れていたことを知って申し込み、3月に来日しました。

日本に来るためにウクライナを出国、ポーランドやスイスを経由し、東京で乗り換え、不安な中、長い時間をかけて福岡まで来たそうです。



▲インタビューに答えるリーザさん(左)とワレリヤさん(右)

日本の子どもたちと接して

筑紫小学校の放課後児童クラブの募集を知ったとき、日本の子どもたちと接する仕事をしたいと思って申し込みました、という二人。

子どもたちとは折り紙をしたり、絵を描いたり、鬼ごっこをしたり、日本の遊びを通して交流をしたそうです。

子どもたちの印象を聞くと、最初は恥ずかしがって慣れませんでした。が、話したり遊んだりしてお互いをよく知ること、とても親切にしてくれたそうです。また、子どもたちは新しいことを積極的に学ぼうとし、ウクライナにも興味を持っていたということです。

身近なところで戦争が起きていた

キーウ市では戦争をしている音が響き、とても怖かったといいます。キーウ市から西に130キロメートル離れたジトーミル市では学校やガソリンスタンド、飛行場が

爆撃を受け、リーザさんはロシアのミサイルや戦闘機を見たそうです。ウクライナでは、戦争の影響で学校ではインターネットを利用したオンライン授業が行われていましたが、9月からは地下などで授業ができる場所があるところは学校を再開しているそうです。

日本の人たちに望むこと

最後に、日本の人たちに望むことを聞いてみました。

「もっとウクライナに関心を持って、ウクライナのニュース、世界のニュースを見て、ウクライナの状況を知ってほしいです」と話していました。

* * *

戦争は、遠い国で起きているのではなく、私たちが住む市内に避難してきたウクライナの人たちがいるということ。考えを聞き、お互いをよく知ることが理解につながり、支援につながるのだと考えます。(本インタビューは8月末に行いました)

興味があるということです。ウクライナでは、多くの人のなごみのあるものから最近のものまで日本のアニメが放送されており、若い人を中心に人気があり、日本のことを学ぶ人が多いそうです。

キーウ国立言語大学で日本語を学んでいたのは、もともと日本に興味があったからでした。きっかけを聞くと、ワレリヤさんは、先生から教わった「愛」の漢字の美しさに感動したことで日本語を勉強したい、と思ったそうです。将来は日本語と英語の教師をめざしています。リーザさんは、日本の文化が大好きで日本語を勉強しています。特に神社に興味があるということです。

ウクライナ人道危機救援金にご協力を

ウクライナ各地で激化している戦闘により、多くの市民が緊張と不安の中で過ごしています。海外で大規模な紛争や災害が起こったときは、救援金を受け付けています。

問 生活福祉課 地域福祉担当

●募金箱設置場所

市役所総合案内、市生活福祉課、生涯学習センター、カミーリヤ、市民図書館、勤労青少年ホーム、農業者トレーニングセンター、文化会館、各コミュニティセンター

